

令和3年度

社会福祉法人野木町社会福祉協議会
事業報告書

社会福祉法人野木町社会福祉協議会

令和3年度事業報告目次

1	総括概要	2
2	サービス区分報告	
	＜社会福祉事業＞	
	法人運営事業及び決算額	3
	地域福祉活動事業及び決算額	5
	法人後見事業及び決算額	11
	共同募金配分金事業及び決算額	12
	社会福祉基金事業及び決算額	14
	資金貸付事業及び決算額	14
	生活福祉資金貸付事業及び決算額	15
	地域福祉ネットワーク事業及び決算額	15
	外出支援サービス事業及び決算額	16
	配食サービス事業及び決算額	17
	居宅介護支援事業及び決算額	17
	指定管理事業及び決算額	17
	＜公益事業＞	
	地域包括支援センター事業及び決算額	18
	生活支援体制整備事業及び決算額	20
	デマンド交通運営事業及び決算額	21
	＜その他＞	
	日本赤十字社活動と共同募金活動	22
	その他の支援活動	23

令和3年度 事業報告

【総括概要】

令和2年度から2ヵ年かけて実施した地域福祉に関する課題やニーズ把握のためのアンケート調査、区長ヒアリング調査などで出された意見や課題等を分析し、また、計画策定委員の専門的な見地から、計画の方向性や内容等について検討・協議を行い、一体的に策定しました。『第2期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』では、第1期計画における取組評価や近年の社会情勢を踏まえ、基本理念である「支えあい ともに生きる 笑顔あふれるまちづくり」を継承し、地域福祉のより一層の推進を図るとともに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域の支え合い、助け合いによる「地域共生社会」の実現を目指していきます。今後は、計画を着実に推進するため、座談会や研修会等を通じて地域住民との意見交換や推進委員会を開催し、計画の進捗状況について継続的に検証を行います。また、検証にあたっては、必要な施策の見直しを講じるとともに、社会情勢や地域の変化を踏まえ、効果的な改善方策を進めます。

権利擁護事業については、高齢・障がい等により判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行う日常生活自立支援事業（あすてらす）に加え、認知症の高齢者で、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、法人が成年後見人となって支援を行いました。今後は、町総合サポートセンターが設置した成年後見（制度）中核機関と連携しながら権利擁護体制づくりを推進してまいります。

令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域福祉活動事業等の各種事業の実施が中止、縮小、変更を余儀なくされました。今後は、コロナ禍においても地域住民のつながりを切らさないための事業活動を創意工夫し、また、生活困窮者や子育て世帯に対し、必要なサービスが安定的・継続的に提供できるよう各種活動を行ってまいります。

昨年度に生活支援体制整備事業を受託し、地域のニーズ把握や資源開発に取り組み、住民主体の生活支援サービス等の取り組みを広げ、地域全体で高齢者等の生活を支える体制づくりに取り組みでまいりました。今後とも生活支援・介護予防サービスの充実を図るとともに、地域の支え合いの体制づくりを推進してまいります。

今後も、誰もが安心して住みなれた地域で暮らしていける地域共生社会を目指し、公的サービスのみならず、インフォーマルサービスの充実を図るとともに行政や各関係機関、団体等と連携・協働し各種活動を推進してまいります。

■法人運営事業及び決算額

【36,447千円[41,109千円]】

1 事業の概要

社会福祉法人野木町社会福祉協議会の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための組織として、各係（担当部署）の連絡・調整を図り、適正な法人運営を推進した。

また、社会福祉法改正により、組織経営におけるガバナンスの強化、事業透明性の向上、財務規律の強化と財政の健全化に努めた。

2 主要な施策

(1) 理事会・評議員会・監査会・評議員選任・解任委員会の実施

理事会・評議員会・監査会の開催により、法人の適正な運営と効果的な事業の実施をすすめた。また、理事会・評議員会を通じて関係機関との連絡調整を図り、社会福祉協議会が地域福祉を推進する団体として継続的かつ安定的に地域福祉を展開していくための法人組織基盤の強化を図った。

①理事会の開催（業務執行の決定、理事の職務執行の監督他）

第1回理事会（令和3年5月31日開催）		出席者：理事8名、監事2名
議案	第1号	令和3年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会会計収支補正予算について
	第2号	令和2年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会決算（事業報告等、計算関係書類、財産目録）について
	第3号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会役員（理事及び監事）の選任について
	第4号	令和3年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会定時評議員会の開催について

第2回理事会（令和3年6月16日開催）		出席者：理事8名、監事2名
議案	第1号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長・副会長の選定について
	第2号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員の候補者の推薦について
	第3号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について

第3回理事会（令和3年10月26日開催）		出席者：理事10名、監事2名
報告	第1号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
	第2号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長の職務執行状況の報告について
	第3号	ふくしのつどいのぎ2021開催中止の報告について
議案	第1号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長表彰並びに感謝状贈呈者の選考について
	第2号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会事務局長及び野木町老人福祉センター所長の選任について

第4回理事会（令和4年3月22日開催）		出席者：理事8名、監事2名
報告	第1号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
	第2号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長の職務執行状況の報告について
議案	第1号	令和3年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会会計収支補正予算について
	第2号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会規程の一部改正について
	第3号	令和4年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会事業計画について
	第4号	令和4年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会会計収支予算について
	第5号	令和3年度第2回社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員会の開催について
	第6号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
	第7号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会における苦情解決の第三者委員の選任について

②評議員会の開催（予算及び事業計画の承認、計算書類及び事業報告の承認他）

定時評議員会（令和3年6月16日開催）		出席者：評議員19名、監事1名
議案	第1号	令和3年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会会計収支補正予算について
	第2号	令和2年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会決算（事業報告等、計算関係書類、財産目録）について
	第3号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会役員（理事及び監事）の選任について

第2回評議員会（令和4年3月30日開催）		出席者：評議員18名
議案	第1号	令和3年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会会計収支補正予算について
	第2号	令和4年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会事業計画について
	第3号	令和4年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会会計収支予算について

③監査会の開催（理事の職務執行の監査、業務及び財産の状況に係る監査）

監査会（令和3年5月20日開催）		出席者：監事2名
内容	令和2年度事業報告等、計算関係書類及び財産目録の監査	

④評議員選任・解任委員会の開催（評議員の選任）

第1回評議員選任・解任委員会（令和3年6月16日開催）		出席者：委員4名
議事	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員の選任について	

(2) 会員増強の強化（7月）

社会福祉協議会活動の趣旨などを周知するとともに会員加入促進を図った。

町社会福祉協議会会員募集実績（募集月間7月）

会員内訳	会員数（世帯・事業所）			金額（円）		
	R1実績	R2実績	R3実績	R1実績	R2実績	R3実績
特別会員	31	34	32	34,000	38,000	37,000
普通会員	6,106	5,870	6,036	3,053,800	2,935,300	3,018,100
寄付	452	568	438	131,890	135,345	129,540
賛助会員	37	37	39	195,000	190,000	198,000
合計	6,626	6,509	6,545	3,414,690	3,298,645	3,382,640

(3) 福祉サービスの運営適正

苦情解決に関する規程に基づき、本会が提供する福祉サービスへの苦情を適切に解決するため、第三者委員や苦情受付担当者を配置し、その権利を擁護した。

第三者委員構成	人権擁護委員 1・民生委員児童委員 1・社会福祉士 1
苦情受付数	0 件

(4) 事務局活動

法人事務局として必要な人事・財務管理等を行った。

(5) 事業運営の透明性の向上

社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムの公表を行った。

■地域福祉活動事業及び決算額

【1,885 千円[1,646 千円]】

1 事業の概要

地域住民の福祉の向上や障がいへの理解を進めるとともにボランティア活動への関心を高め、ボランティア活動の育成・援助を行った。また、判断能力が十分でない方に対しては、書類の管理や日常生活の金銭管理などの支援を行うとともに、制度の活用促進を図った。



2 主要な施策

(1) 第2期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定事業

第2期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定し、地域住民と関係機関・団体、社会福祉事業者、行政、社会福祉協議会が連携して、地域の課題を解決していく新たな支え合いの仕組みづくりに努めた。

①策定委員会の開催

計画を策定するにあたり、野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会を設置し、各委員の専門的な見地から、計画の方向性や内容について意見・提言を受け、その意見を計画に反映した。

第1回野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会（書面開催）	
内容	・第2期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画の概要について ・町民アンケート調査の結果について

第2回野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会 (令和3年11月30日開催)		出席者数(名)
内容	・第2期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画（素案）について ・今後のスケジュールについて	15

第3回野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会（書面開催）	
内容	・第2期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画（案）に対する意見聴取

②パブリックコメントの実施（町実施）

計画素案の段階で幅広く町民の意見を募り、計画へ反映するためパブリックコメントを実施した。

募集期間	令和4年1月13日～2月14日
閲覧方法	町民生活部健康福祉課または町ホームページ

※意見はなし

(2) 災害ボランティアセンター設置・運営に係る整備の実施

災害時に円滑にボランティアが活動し被災者への支援が出来るよう、災害ボランティアセンターで使用する資機材等を整備し防災力の向上に努めた。また、改訂した災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づき、次年度以降、災害発生時の社協の組織体制及び役割を明確かつ確実にし、迅速に活動できるよう職員や運営に関わる町社会福祉ボランティア連絡協議会及び町赤十字奉仕団の研修・訓練を開催する。

- ①野木町災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定書締結（R3.8）
- ②野木町災害ボランティアセンター運営に係る資機材の整備
- ③野木町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの一部改訂（R3.10）
- ④野木町社協職員災害対応マニュアル（ハンドブック）の改訂（R3.9）
- ⑤事業継続計画（災害時版・感染症版）の改訂（R3.9）
- ⑥災害ボランティアセンター運営に関する研修会への参加

(3) 社会福祉等のボランティア活動支援

①ボランティア関係機関との連携と活動基盤整備

町が設置するボランティア支援センター「きらり館」と連携を図りながら、社会福祉関係等のボランティア活動が円滑に活動できるように支援した。また、ボランティア活動を安心して行うことができるよう、個人や団体の活動内容に沿った保険加入を促進し、加入の事務手続きを行った。今後も、安心してボランティア活動に参加・活動ができる環境整備と情報提供の推進に努める。

ボランティア保険種別	加入件数（件）			加入者数（名）		
	R1実績	R2実績	R3実績	R1実績	R2実績	R3実績
ボランティア活動保険	18	11	11	960	727	505
ボランティア行事用保険	19	5	3	1,019	147	167
福祉サービス総合補償	4	4	5	84	76	90
送迎サービス補償	1	1	1	8	8	8
合計	42	21	20	2,071	958	770

※ボランティア活動中の事故報告

事故報告件数（件）	R1実績	R2実績	R3実績
		0	3

(整備機材一覧)

資機材名	資機材名	資機材名
ロッカー	スピーチオ (活字文書読上装置)	点字ランプ・UNO
パソコン	デイジー (CD 読み取り機)	音声電卓
点字板	高齢者疑似体験装着具	鈴入りサッカーボール
点字プリンター	まなび体 (片マヒ疑似体験具)	車いす
MD/CD ラジカセ	アイマスク・白杖 (視覚障害体験具)	移動式段差解消用スロープ
録音機 (テープ式)	体験用点字ブロック	プロジェクター・スクリーン
録音用 (集積) マイク	視覚障害体験グラス	アンプスピーカー

②社会福祉等ボランティア活動の推進と担い手の育成

社会福祉関係等のボランティア団体 (サークル)・個人により構成された連絡協議会の事務局を担当し、各種活動の支援と助成を行った。

開催日	内容
4月24日	全体会・全体研修会
7月30日	疑似体験セット まなび体 (片麻痺用) 勉強会
11月17日	V連委員研修会 (ZOOMの始め方・使い方講座)
定例会の開催 (第2木曜日/年5回開催) 各ボランティア団体の代表者及び個人ボランティアから構成 (委員14名) され全体会・全体研修会、委員研修会等について意見交換を行った。	



社会福祉ボランティア連絡協議会の会員数 (毎年度3月31日現在)

	R1実績	R2実績	R3実績
団体数 (団体)	11	11	11
個人ボランティア数 (名)	69	54	53

(ボランティア団体)

No.	名称	活動内容
1	手話サークル「虹の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業 (小中学校手話体験含) への参加協力
2	手話サークル「野和の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業 (小中学校手話体験含) への参加協力
3	朗読の会「のぎく」	町広報・社協情報誌他を録音し、視覚障がい者に届ける活動、朗読の学習、福祉関係事業への参加協力、施設での読み聞かせ活動

4	点友会「のぎ」	視覚障がい者との交流、点訳による情報提供活動、点訳学習、各種福祉関係事業（小中学校点字体験含）への協力
5	シルバー大OB会 野木支部	各種福祉関係事業への協力・研修等
6	野木ニューモラルクラブ	高齢者福祉施設での奉仕活動、交流、各種福祉関係事業への協力
7	野木ひまわり	福祉施設でのよさこい交流活動、町、各種福祉関係事業への参加協力
8	五家英子とみんなで楽しく踊ろう会 のぎコスモス	
9	YOSAKOI 桜	
10	傾聴野木	高齢者施設や在宅ひとり暮らし高齢者の方への傾聴活動
11	のぎまちづくり ネットワーク	野木町を少しでも良くするため、町民の皆様と一緒に協力し、協働のまちづくりを進める活動

(ボランティア団体以外の活動一覧)

No.	名 称	活動内容
1	配食ボランティア活動	社協事業「配食サービス」の配達に協力し、ひとり暮らし等高齢者宅に昼食のお弁当を届け、安否確認や交流を図る活動
2	収集ボランティア活動	使用済資源（古切手、ペットボトルキャップ、書き損じハガキなど）を収集整理して関係機関に送付し、国内外の福祉に役立つよう活動
3	福祉・介護施設等でのボランティア活動	町内外の福祉・介護施設などで利用されている方々の趣味活動支援やお話し等交流を行う活動
4	事業協力活動	各種福祉関係事業への協力、町内小中学校やサマー スクールでのハンディキャップ体験指導活動
5	ハンディキャップ体験 学習支援活動	

・傾聴ボランティア養成講座

講師 栃木県傾聴ボランティア連絡協議会 会長 黒川 貢氏

開催日	内 容	出席者数 (名)
10月7日	研修「傾聴とは敬聴なり」 演習「肯定感を味わう」 グループワーク	11
10月20日	研修「傾聴のスキル（技能）」 グループワーク コロナ禍における傾聴活動の現状について	10
10月28日	研修「聴いてほしいという欲求」 グループワーク 研修「傾聴が身につく自分づくり」	10

③児童生徒の福祉教育活動推進

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校を「学童・生徒のボランティア活動普及事業」協力校に指定し、協働による福祉体験学習を推進した。

・協力校事業

協力（指定）校	野木中学校、野木第二中学校、友沼小学校、野木小学校、佐川野小学校、南赤塚小学校、新橋小学校（全7校）
実施した主な活動内容	アルミ缶回収／古紙回収／緑の募金／エコキャップ回収／手話・点字の学習／ハンディキャップ体験／クリーン活動／ふれあい活動／伝承あそび／その他

・協力校事業連絡会議の開催（年2回）

開催日	内 容	出席者数（名）
6月25日	・令和3年度事業計画について ・各学校における福祉教育の計画について	10
11月18日	・地域福祉新聞について	10
	・セミナー「まなび体を使った福祉教育の進め方」	12

・地域福祉新聞（小中学生版）の発刊（共同募金配分金事業）

各学校におけるボランティア活動や福祉教育の取り組み等について、地域福祉新聞を発行し、町内全世帯に配布した。

発行日	内 容
2月22日	・各協力校で行われている福祉教育事業やボランティア活動 ・福祉教育に携わるボランティアサークルの方の感想 ・片マヒ疑似体験機材『まなび体』を使用した福祉教育の進め方

・学校における福祉教育への支援活動

【協力】野木町社会福祉ボランティア連絡協議会

開催日	内 容	場 所
6月28日	ハンディキャップ体験学習支援（4年）	友沼小学校
7月13日	ハンディキャップ体験学習支援（4年）	南赤塚小学校
7月14日	ハンディキャップ体験学習支援（4年）	南赤塚小学校
10月13日	ハンディキャップ体験学習支援（福祉委員）	野木中学校
11月9日	ハンディキャップ体験学習支援（4年）	新橋小学校
11月11日	ハンディキャップ体験学習支援（4年）	新橋小学校
11月12日	福祉のお話（4年）	野木小学校
11月16日	手話体験学習支援（4年）	野木小学校
11月29日	点字体験学習支援（4年）	野木小学校
12月2日	人権講話「車いすでの生活について」	友沼小学校
12月2日	手話・点字体験学習支援（4年）	新橋小学校
12月7日	ハンディキャップ体験学習支援（4年）	野木小学校

(4) 在宅福祉活動

①福祉機材の貸出

歩行等が困難で車いすを必要とする方の日常生活の便宜を期するため、車いすを貸出した。

貸出件数（件）	R1 実績	R2 実績	R3 実績
	48	39	30

②ふれあいサービス（住民参加型在宅福祉サービス）事業

高齢や障がい等により日常生活を営むことに支障のある方に対し、公的サービスでは補えきれないニーズについて住民相互の支え合いによる会員制の生活支援サービス事業を実施した。

	R1 実績	R2 実績	R3 実績
登録利用会員数（名）	43	45	46
登録協力会員数（名）	24	24	17
活動件数（件）	65	35	35

(5) 日常生活自立支援事業（愛称 あすてらす）

認知症高齢者、知的障がい者や精神障がい者などの判断能力が不十分な方に対し、福祉サービスや日常の金銭管理を行い、地域で安心して自立した生活が送れるよう支援した。また、令和4年度、野木町を担当する基幹的社協（小山市社協）から、野木町社協実施方式の変更に伴い、移行に向けた準備、調整等をした。

【実施したサービス内容】

福祉サービス利用援助：福祉サービスに関する情報提供や相談、利用の申し込み等

日常的金銭管理サービス：日常生活上の生活費の管理、支払い代行、生活費のお届け等

書類等預かりサービス：預貯金通帳・印鑑・各種証書の預かり等

【生活支援員数】 登録者 11名（実サービス提供担当者7名）

	R1 実績	R2 実績	R3 実績
利用者実人数（名）	14	14	13
提供回数（回）	303	200	178

(6) 緊急食料等給付事業の実施

経済的に困窮し最低限の生活を維持することが困難な世帯に対して、総合サポートセンター「ひまわり館」と連携を図りながら、フードドライブを活用し食料等の支援を行い、生活困窮者の自立促進を進めた。

・緊急食糧等給付

	R1 実績	R2 実績	R3 実績
件数（件）	5	0	0

・フードドライブ

	R1 実績	R2 実績	R3 実績
件数（件）	3	14	41

(7) 福祉団体活動支援・協力

団体名	主な事務・事業支援内容
野木町老人クラブ連合会 (えんじゅクラブ野木)	スポーツ、レクリエーション、教養活動、社会奉仕活動等を通しての健康づくりや生きがいづくりの場の推進を支援した。
野木町社会福祉ボランティア連絡協議会(団体・個人含)	活動者相互の交流や情報交換の場の提供などボランティア活動推進の支援に努めた。
野木町赤十字奉仕団	災害時高齢者生活支援講習など地域における奉仕活動の推進を図る活動を行った。

(8) その他

行路援護者に対し、交通費の援助を行った。

	R1 実績	R2 実績	R3 実績
件数 (件)	6	7	2

■法人後見事業及び決算額

【347千円[365千円]】

1 事業の概要

認知症、知的障がい、精神障がいなど判断能力が不十分な方に対し、本会が法人として後見業務を行い、地域の様々な社会資源を有効活用して被後見人等の住み慣れた地域での生活を支援した。

2 主要な施策

(1) 法人後見運営委員会

成年後見人経験者等の専門家で構成する法人後見運営委員会を設置し、受任の適否の判断、後見事業の指導を行い、適正な後見事業を行える体制を整えた。

第1回法人後見運営委員会（書面開催）	
内容	・後見申立ケースの受任について

第2回法人後見運営委員会（書面開催）	
内容	・受任ケースの経過報告について

・法人後見受任状況

類型	R2 実績	R3 実績
後見	1	1
保佐	0	0
補助	0	0
合計	1	1

・ 類型終了件数

類 型	R2 実績	R3 実績
後 見	0	1
合 計	0	1

■ 共同募金配分金事業及び決算額

【1,799 千円[1,888 千円]】

1 事業の概要

赤い羽根共同募金からの配分金を活用し、社会福祉活動の理解と関心を高めるため、広報啓発活動（情報誌やホームページの活用）を推進し、活動の紹介や情報を提供した。

2 主要な施策

(1) 広報・啓発活動

多年にわたり社会福祉事業の発展及び社会福祉協議会の運営に貢献、功績のあった方々に対する福祉功労表彰をした。また、社協情報誌『ぽけっと』・地域福祉新聞（小中学生版）の発行やホームページの維持管理など広報活動を行い、事業のPRとネットワークの構築を図った。

福祉功労表彰者

(表彰者)

社会福祉団体及び社会福祉施設等の役職員 1名

社会福祉事業協力者 4名

(感謝状) 4団体

・ 社協情報誌『ぽけっと』…年4回（4月・6月・10月・1月）発刊

号 数	発行日	記事内容
129号	4月22日	令和3年度事業計画・予算、ホープ館講座のお知らせ、シトラスリボンプロジェクト、デマンドタクシー「キラ輪号」からのお知らせ、地域福祉計画・地域福祉活動計画、赤十字運動月間のお知らせ、各種ボランティア講座のお知らせ、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
130号	6月24日	令和2年度事業・決算報告、令和3年度野木町社会福祉ボランティア連絡協議会全体会・全体研修会、マンデーボランティア講座受講生募集、傾聴ボランティア養成講座受講生募集、ボランティアチャレンジスクールの募集、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
131号	10月28日	令和3年度日本赤十字社会員募集実績報告、オレンジカフェ、企業×地域、えんじゅクラブ通信、配食ボランティア募集、外出支援サービスドライバー募集、ふれあいサービス、日常生活自立支援事業、生活支援体制整備事業、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他

132号	1月28日	令和3年度野木町社会福祉協議会会員募集実績報告、赤い羽根共同募金実績報告、生活支援体制整備事業、令和3年度地域福祉活動報告、野木町社会福祉協議会会長表彰・感謝状受賞者紹介、赤十字奉仕団員募集、貸付制度の案内、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
------	-------	--

・地域福祉新聞…年1回(2月)発刊

発行日	学校名等	記事内容
2月22日	友沼小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・チューリップ球根植え ・ハンディキャップ体験 ・人権学習会
	野木小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンディキャップ体験 ・点字体験 ・手話体験
	佐川野小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・食農教育について
	南赤塚小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・人権週間 ・総合的な学習
	新橋小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいウォークラリー ・総合「心のバリアフリー」
	野木中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・募金活動 ・アルミ缶・古紙回収 ・高齢者への手紙 ・ハンディキャップ体験
	野木第二中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ビックアート ・あいさつ向上ワークショップ ・NHK 海外たすけあい募金
		<ul style="list-style-type: none"> ・手話サークル「虹の会」、点友会「のぎ」、朗読の会「のぎく」 ・片マヒ疑似体験機材「まなび体」を使用した福祉教育の進め方 ・地域福祉新聞とは

・ホームページ…年間公開

	R1 実績	R2 実績	R3 実績
アクセス件数 (件)	3,491	3,284	3,074

(2) 世代間交流事業

児童と地域の高齢者が季節行事やレクリエーションを通しての交流を行った。

開催日	内容	参加者	場所
10月21日	高齢者・園児との お楽しみ交流事業 (芋ほり)	法得幼稚園児 老人クラブ会員 25名	川田地域

(3) 児童・生徒の福祉教育活動支援助成

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校に支援・助成を行った。

(4) 災害備蓄備品等整備事業

災害時、被災者への支援が出来るよう、災害ボランティアセンターで使用する資機材等を整備し、災害時の運営に関する準備を行った。

■社会福祉基金事業及び決算額

【354千円[408千円]】

1 事業の概要

町民、事業所等からの寄付金を社会福祉の振興に充てるため「社会福祉基金」を設置し、積み立てた。

・善意の寄付受入について（基金指定）

預託内容	R1実績	R2実績	R3実績
寄付件数（件）	11	10	9
寄付金額（円）	368,246	402,140	348,919

■資金貸付事業及び決算額

【66千円 [147千円]】

1 事業の概要

低所得者及び生活困窮者に対し、必要な小口の資金の貸付を行い、家庭の経済的自立と生活意欲の向上を図り、安定した生活ができるよう支援した。また、貸付相談から見出された世帯の様々な生活課題等に対応すべく、各関係機関と連携し、支援を行った。

	R1実績	R2実績	R3実績
貸付件数（件）	9	13	7
償還件数（件）	23	16	20

資金の種類・貸付件数（件）	R1実績	R2実績	R3実績
生活一時資金	9	11	4
医療・介護一時資金	0	0	0
家屋修理一時資金	0	0	0
就学一時資金	0	0	0
その他の一時資金	0	2	3
合計	9	13	7

■生活福祉資金貸付事業及び決算額

【869 千円 [1, 541 千円]】

1 事業の概要

栃木県社会福祉協議会より受託し、民生委員児童委員との連携のもと、低所得者世帯や障がい者世帯、高齢者世帯等を対象に資金の貸付事務や相談支援を行い、その世帯の経済的自立や生活意欲の助長促進を図った。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生計維持が困難となり、生活再建までの生活費を必要とする世帯への資金の貸付事務や相談支援を行った。

	R1 実績	R2 実績	R3 実績
相談件数 (件)	20	248	97

資金の種類・貸付件数 (件)	R1 実績	R2 実績	R3 実績
総合支援資金	0	0	0
福祉資金 (福祉費)	0	0	0
福祉資金 (緊急小口資金)	0	0	0
教育支援資金	1	2	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0
緊急小口資金コロナ特例貸付	1	95	30
総合支援資金コロナ特例貸付	0	52	22
総合支援資金コロナ特例貸付 (延長)		11	4
総合支援資金コロナ特例貸付 (再貸付)		18	15
合計	2	178	71

■地域福祉ネットワーク事業及び決算額

【8, 456 千円 [8, 897 千円]】

1 事業の概要

地域におけるボランティア活動などの住民の福祉活動への支援や地域住民が相互に協力し、要援護者に対して支援を行うためのネットワークづくりなど多種多様な福祉ニーズに対する支援を行った。

2 主要な施策

(1) ふれあい福祉総合相談

住民の日常生活の各種相談に応じるとともに、相談を通じて見出された課題に対し

て、ニーズに即したサービスの提供や関係機関との連携による対応を行い、適切な助言、援助等を行って地域住民の福祉の増進を図った。

相談種別	開設曜日・時間	相談員	相談内容
心配ごと相談	毎月第1水曜日 10:00-12:00	民生委員児童委員 保護司・人権擁護 委員	日頃の悩みごとなど 日常生活に関する相談
法律（弁護士）相談	毎月第3木曜日 10:00-12:00	弁護士	財産・扶養・土地・金銭 貸借・賠償・離婚等の問 題に関する相談
介護相談	月～金曜日 8:30-5:15	地域包括支援セン ター職員	介護や介護保険（サー ビス）等に関する相談
ボランティア相談	月～金曜日 8:30-5:15	社協職員	ボランティア保険や社 会福祉支援活動等に関 する相談
生活資金・地域福祉 権利擁護相談	月～金曜日 8:30-5:15	社協職員	生活資金や日常金銭管 理に関する相談

【心配ごと相談】

	R1 実績	R2 実績	R3 実績
開所回数（回）	12	7	9
相談件数（件）	5	1	2

【法律相談】

	R1 実績	R2 実績	R3 実績
開所回数（回）	12	11	12
相談件数（件）	45	42	42

【介護相談】

	R1 実績	R2 実績	R3 実績
相談件数（件）	269	266	275

■外出支援サービス事業及び決算額

【187千円[206千円]】

1 事業の概要

町内に居住し65歳以上で肢体不自由により車いすを常時使用している高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な方に、リフト付車両により居宅と社会福祉施設又は医療機関等の間の送迎を行った。

	R1 実績	R2 実績	R3 実績
利用者実人数（名）	14	7	6
移送回数（回）	94	51	41

■配食サービス事業及び決算額

【1,390千円 [1,437千円]】

1 事業の概要

町内に居住する65歳以上のひとり暮らしの者又は高齢者のみの世帯であって、老衰、心身の障がい又は疾病等の理由により調理が困難な方に対し、お弁当の宅配(毎月4回 金曜日)を行うことで、安否の確認と日常生活の身体的・精神的負担の軽減と健康維持を図った。

【配食方法】 配食ボランティアの協力により弁当を宅配、安否確認を行う。

【配食協力者(ボランティア)人数】 45名

	R1実績	R2実績	R3実績
利用者実人数(名)	64	57	59
配食数(食)	1,815	1,988	1,881

■居宅介護支援事業及び決算額

【21,438千円 [26,735千円]】

1 事業の概要

介護保険制度における指定居宅介護支援事業所として、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくために要介護認定を受けた人のケアプランを作成した。また、利用者・家族の抱えている複雑な課題等に対して適切な相談支援を行い、より良質なサービスが受けられるようケアマネジメントを実施した。

【介護支援専門員数】 4名

・居宅サービス計画(ケアプラン)作成

	R1実績	R2実績	R3実績
作成件数(件)	1,137	1,103	1,061

・要介護認定調査

	R1実績	R2実績	R3実績
調査件数(件)	2	1	0

■指定管理事業及び決算額

【40,681千円 [19,019千円]】

1 事業の概要

指定管理者として、施設の目的や特性・業務内容・運営等を踏まえ、高齢者の福祉を増進する事業の展開とより効果的・効率的かつ施設の機能を最大限に発揮できる施設の管理運営に努めた。

2 主要な施策

(1) 野木町老人福祉センターの管理運営

コミュニケーションを多くとることができ、楽しみを増やせる生きがいつくりの場として、高齢者の社会参加活動の促進を図った。また、施設整備や防災等安全確保に十分配慮し、利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めた。

	R1 実績	R2 実績	R3 実績
開所日数（日）	302	261	225
利用者総数（名）	24,290	7,591	6,560

※老人福祉センター利用者数等別表による。（P 23 参照）

(2) 講座等の開催

町内に在住する60歳以上の方を対象に健康維持・増進と文化教養の向上を図るため各種講座を行った。

・生きがい講座（令和3年6月～令和4年1月）

講座名	開講回数（回）	受講者実人数（名）		
		男	女	計
生活サポート運動教室	12	1	11	12
初心者向け養生気功講座	12	3	5	8
初心者向けパソコン講座	21	1	4	5
フラワーアレンジメント教室	5	0	8	8
合計	50	5	28	33

■地域包括支援センター事業及び決算額

【53,770千円[53,243千円]】

1 事業の概要

地域に住む高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活が続けられるよう総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメント等の実施や各関係機関との連携強化とネットワークにより、地域で見守る体制づくりに努めた。

2 主要な施策

(1) 地域包括支援センターの運営

【専門職員数】8名（本センター5名・サブセンター3名）

社会福祉士	2名
保健師・看護師	2名
主任介護支援専門員（介護支援専門員含）	4名

①総合相談支援

地域に住む高齢者の様々な相談に対応し、適切な機関・制度・サービスに繋ぐなど継続的に支援する総合的な相談を行った。

	R1 実績	R2 実績	R3 実績
総合相談	269	266	275
認知症相談	40	20	44
権利擁護相談	14	12	13
虐待相談	13	6	8
介護認定申請等	131	106	97
福祉用具住宅改修理由書作成	37	41	30
関係機関への連絡・調整等	3,498	3,471	3,575
緊急通報装置	29	19	13
見守りキーホルダー	10	12	8
その他	48	198	200
件数(件)	4,089	4,151	4,263

※その他については、安否確認、緊急通報装置の確認、見守りキーホルダーの更新確認等

②権利擁護業務

高齢者の虐待防止、成年後見制度活用支援などの権利擁護業務を行った。

③包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し、包括的かつ継続的な福祉・介護サービスが提供されるよう地域のネットワークを構築し、社会資源を活用したケアマネジメントを行った。

・介護支援専門員定例ケア会議の開催

開催日	内容	参加者数(名)
5月20日	講話「災害時における避難所での要配慮者への対応方法について学ぶ」～避難所運営ゲーム HUG を通じて～ 講師 特定非営利法人 栃木県防災士会 幹事 豊田 錦治 氏 他5名	19
11月16日	講話「個人情報保護法の概要について」 講師 個人情報保護委員会 事務局 上席政策調査員 松浦 大 氏	22
2月17日	講話「重複・多剤服薬者の現状と課題」 講師 国保連合会保健事業課保健事業担当 主査 増渕 千恵美 氏 保健師 中河原 幸子 氏 ファークスのぎ薬局 薬剤師 財部 仁誌 氏	22

④指定介護予防支援事業所の運営

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、介護予防サービス事業者等との連絡・調整を図りプランを作成した。

	R1 実績	R2 実績	R3 実績
作成件数（件）	3,141	3,118	3,217

⑤認知症施策の推進支援

町で実施する地域ケア会議、認知症初期集中支援チーム員会議に関係機関と連携しながら適切なサービス提供へ繋がるよう支援した。

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業

高齢者を中心とした地域の支え合い（互助）への取り組みに向け、町及び関係機関との連携のもと、町における介護予防・日常生活支援総合事業で要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援をした。

■生活支援体制整備事業及び決算額

【2,441千円[0千円]】

1 事業の概要

地域包括ケアシステムの構築に向け、介護保険の地域支援事業の実施にあたり、生活支援コーディネーターを中心に協議体の運営を行った。また、地域の生活支援・介護予防サービス等を担う事業主体と連携しながら、生活支援・介護予防サービスの充実を図るとともに、地域の支え合いの体制づくりを推進した。

2 主要な施策

(1) 生活支援コーディネーターの設置

地域のニーズ把握や地域のサービス主体との連携調整等のコーディネーター機能を担うため生活支援コーディネーターを1名配置した。

(2) 協議体の設置

地域で高齢者を支援する関係者間のネットワークづくりを目的に、定期的な情報共有・連携強化の場として協議体を設置した。

第1回野木町生活支援体制整備事業「協議体」会議 (令和3年11月16日開催)		出席者数(名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援体制整備事業の概要について 野木町における高齢者の実態及びニーズについて 生活支援体制整備事業の計画と今後の予定について 意見交換（地域課題等） 	11

(3) 主な活動

視察及び研修	先進地の視察や研修会へ参加することにより、生活支援体制整備事業の運営や生活支援コーディネーターの役割と活動内容の情報収集を行った。
会議等への出席	地域における高齢者の生活支援体制整備を進めるために、関係する機関が実施する各種会議等に参加した。
地域活動への支援	高齢者を支える活動を行なう団体等の支援を行った。
高齢者への個別生活支援	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等で、福祉や介護サービス利用の対象にならないなどの課題について、各関係機関との連携を図りながら相談や支援を行った。
啓発活動	事業の周知・理解のための広報活動や説明会を開催した。

■デマンド交通運営事業及び決算額

【18,247千円[17,378千円]】

1 事業の概要

公共施設、医療機関等への外出が容易にできない町民の交通手段を確保するため、利用者の要求に応じて運行する乗合タクシーの導入を図り、もって町民の交流促進、商業の活性化及び環境に配慮したまちづくりを推進した。

運行エリア（範囲）	野木町全域及び光南病院（小山市）、友愛記念病院（古河市） ※友愛記念病院へは、行きのみ
運行日	月曜日から金曜日 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は運休
運行便	午前8時～午後4時（30分おき運行）
運行台数	3台（セダン車2台、ワゴン車1台）
利用料金	1回（片道） 大人（中学生以上）300円、子供（小学生以下）200円 75歳以上 200円、3歳未満 無料
予約受付日・時間	月曜日から金曜日 午前8時から午後5時 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は除く
備考	○小学生単独乗車（R4.1月末から実施） 【利用条件】1. 必ず保護者から利用予約をすること 2. 保護者の責任において利用すること ○キラ輪号連絡ヘルプカードの利用（R4.2月末から実施） ※予約時など電話連絡が難しいと感じる方が携帯し、キラ輪号へ電話する際に周囲の人をお願いをするためのカード

※デマンドタクシー利用者数等 別表による。（P24参照）

■日本赤十字社活動と共同募金活動

(1) 日本赤十字社栃木県支部野木町分区事務局

- ①日赤会員増強運動の実施（５月）
- ②被災世帯への救援物資の援助（寝具・日用品等）
- ③災害等による被災地への義援金等の受付
- ④日赤県支部事業（救急法講習会等）の実施及び受付事務
- ⑤被災地救援活動の実施・援助

・日赤会員増強運動の実施（５月）

会員内訳	件数（件）			金額（円）		
	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績
会 員	7	7	7	14,000	19,000	14,000
協力会員 （寄 付）	6,679	6,546	6,557	3,192,661	3,164,850	3,163,028
合 計	6,686	6,553	6,564	3,206,661	3,183,850	3,177,028

・災害等による被災地への義援金等の受付

	件数（件）	金額（円）
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	1	50,000

・赤十字活動資金の受付

	件数（件）	金額（円）
赤十字活動資金	1	6,591

(2) 栃木県共同募金会野木町支会事務局

- ①赤い羽根共同募金運動の実施（１０月）
- ②災害等による被災地への義援金等の受付

・赤い羽根共同募金運動実績（運動月間１０月）

募金種別	協力数			金額（円）		
	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績
世帯募金	6,651 世帯	6,551 世帯	6,517 世帯	2,622,516	2,584,933	2,575,730
職域募金	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	6,407	7,723	9,602
法人募金	23社	25社	24社	108,153	125,000	127,005
設置募金箱	10ヶ所	9ヶ所	9ヶ所	6,164	12,255	7,636
個人募金	0件	0件	1件	0	0	4,841
自販機募金	2台	3台	3台	44,749	41,641	55,159
利 息				5	6	6
合 計				2,787,994	2,771,558	2,779,979

■その他の支援活動（リサイクル関連）

- ①不要入れ歯等貴金属リサイクルの国際協力支援
- ②ペットボトルキャップの国際協力支援（ワクチン還元）
- ③使用済み切手収集の国際協力支援

令和3年度 野木町老人福祉センター利用者数及び利用料収入状況報告書（令和3年4月～令和4年3月）

	開所日数 (日)	利用者総数 (人)	無料者数 (人)	有料者数 (人)	利用料金額 (円)	有料利用者の内訳(人)						1日平均 利用者数 (人)	利用団体数	
						町内者			町外者					
						一般	小中学生	内減免者数	一般	小中学生	内減免者数			
令和3年4月	25	693	689	4	600	3			1			1	28	97
令和3年5月	23	542	534	8	800	4			4			4	24	96
令和3年6月	26	671	664	7	600	4		1	3			3	26	111
令和3年7月	25	608	602	6	600	4		1	2			2	24	108
令和3年8月	15	185	184	1	200	1							12	33
令和3年9月	0	12	12	0	0									1
令和3年10月	26	612	611	1	200	1							24	100
令和3年11月	28	1,081	1,077	4	0				4			4	39	130
令和3年12月	28	1,255	1,155	100	0	40	57	97	3			3	45	148
令和4年1月	19	729	716	13	0	10		10	3			3	38	92
令和4年2月	0	0	0	0	0								0	0
令和4年3月	10	172	172	0	0								17	22
合計	225	6,560	6,416	144	3,000	67	57	109	20	0	20	20	29	938

* 上記有料者数には減免の為免除されている人数を含んでいません。

—野木町デマンド交通利用状況報告書—

1 登録者・利用者実人数(地区別・男女別)(平成21年度～令和3年度)

区分	友沼	松原	新橋	野木	野渡	南赤塚	中谷	丸林東	丸林西	潤島	若林	佐川野	川田	フレシオン	町外	合計
登録者数	61	125	196	74	51	81	13	153	130	77	29	47	25	7	14	1,083
利用者数	59	131	208	72	66	76	13	180	134	91	37	56	29	7	15	1,174
利用率	62.1	61.5	66.9	65.5	76.7	62.3	54.2	69.0	70.9	71.1	84.1	71.8	65.9	77.8	37.5	66.9
合計	52.6	57.7	59.8	58.7	69.3	57.6	45.9	60.9	60.5	57.6	78.1	62.4	58.0	68.8	29.6	59.3

運行日数	2,970
利用者数	103,671
平均/1日	34.9
登録者数	2,837

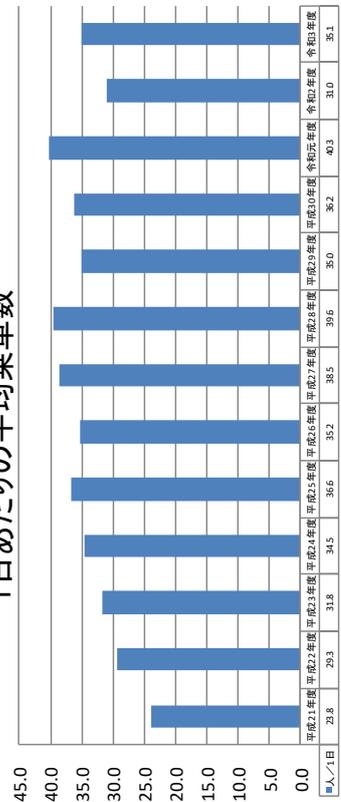
更新日: R4.4.4	(デマンド)
更新日: H30.3.30	(町)
登録者: 死亡者数	401
登録者: 転出者数	149
登録者: その他(登録抹消等)	4

登録世帯数	1,967
-------	-------

2 月別利用者数・登録者数(令和3年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
運行日数	21	18	22	20	19	20	21	20	20	19	19	22	240
利用者数	672	615	781	759	691	701	746	727	751	638	585	759	8,425
平均/1日	32.0	34.2	35.5	38.0	36.4	35.1	35.5	36.4	37.6	33.6	32.5	34.5	35.1
登録者数	11	16	17	9	12	13	13	17	9	13	10	12	152
シルバーカー持込者数	22	48	44	41	50	39	57	46	37	44	42	57	527
免許返納者数	8	4	7	8	2	3	8	10	9	4	5	3	71
無料券利用者数(200円)	40	27	41	34	33	31	45	49	38	38	25	44	445
無料券利用者数(300円)	8	10	13	29	9	27	11	13	20	5	5	7	157
利用世帯数	493												493

1日あたりの平均乗車数



年度別登録者・利用者

